



日本のまんなか
水と緑といで湯の街渋川市

令和7年2月第2回市長定例記者会見

- ・日時 令和7年2月12日(水)
予算内示説明会終了後
- ・場所 市役所本庁舎記者会見室

- 1 合理的配慮について考えるセミナーが開催されます(資料1)
- 2 気候危機や脱炭素の基礎知識を身に付ける
「脱炭素まちづくりカレッジ」を開催します(資料2)
- 3 ふるさと再発見 渋川の偉人展第13回目として
「渋川郷学 堀口藍園顕彰展」を開催します(資料3)

○次回開催予定

日時：令和7年2月17日(月) 午後1時
場所：渋川市役所本庁舎2階 記者会見室

市長の主な週間日程

月 日	時間	件 名	場 所	所 管
2月10日(月)	9:00	庁議	市役所本庁舎	政策戦略課
	13:00	群馬県共済生活協同組合役員会	市町村会館	危機管理室 秘書室 秘書室
	13:30	群馬県市長会議	市町村会館	
	14:30	群馬県市町村振興協会定時評議員会	市町村会館	
2月11日(火)	9:00	豊秋地区芸能フェスティバル	豊秋公民館	豊秋公民館
	13:30	第2回子どもたちとつくる音楽会	市民会館	秘書室
2月12日(水)	9:00	臨時庁議	市役所本庁舎	政策戦略課 財政課
	10:00	令和7年度予算内示会	市役所本庁舎	
	13:00	令和7年度予算内示説明会	市役所本庁舎	広報室 広報室
	終了後	市長定例記者会見	市役所本庁舎	
2月13日(木)	10:00	令和7年群馬県市町村会館管理組合議会第1回定例会	市町村会館	秘書室 人事課
	10:45	令和7年第1回群馬県市町村総合事務組合議会定例会	市町村会館	
	18:00	渋川地区自治会長OB会行政懇談会	ホワイトパーク	市民協働推進課
2月14日(金)	13:30	令和6年度第2回渋川市土地開発公社理事会	市役所第二庁舎	都市政策課 交通政策課
	15:45	渋川・吾妻地域在来線活性化協議会による要望書の提出	JR東日本高崎支社	
2月15日(土)				
2月16日(日)	9:30	上中郷自治会「高齢者感謝の集い」	子持公民館	子持行政センター
2月17日(月)	9:00	庁議	市役所本庁舎	政策戦略課
	13:00	市長定例記者会見	市役所本庁舎	広報室
	18:00	北群馬しんきん会新年会	プレヴェール渋川	秘書室

資料1

合理的配慮について考えるセミナーが開催されます

合理的配慮について学び、考え、実践につなげることを目的に、インクルーシブ実行委員会による「合理的配慮について考えるセミナー」が、3月3日(月)に伊香保公民館で開催されます。

1 概 要

合理的配慮とは、障害のある人が、障害のない人と同じように教育や就業、その他社会生活に参加できるように、それぞれの特性や困りごとに合わせて行われる配慮のことをいいます。

令和6年4月に改正障害者差別解消法が施行され、民間事業者における合理的配慮の提供が法的義務となりました。こうした法整備を受け、合理的配慮が義務化された背景やその社会的意義について理解を深め、無理解による不当な偏見をなくすための一助となるとともに、多様性を受け入れる意識付けと実践につなげることを目的としたセミナーが開催されます。

このセミナーは、共生社会の推進に寄与するものであり、まちづくりに資する取り組みとして、「しぶかわ未来共創推進事業補助金」の交付を受けて実施されます。

2 日 時 令和7年3月3日(月) 午前11時～午後0時30分

3 会 場 伊香保公民館（渋川市伊香保町伊香保163-1）

4 内 容

- (1) 合理的配慮に関する事例紹介
- (2) 現代社会で求められる合理的配慮についての提案 ほか

5 講 師

一般社団法人インクルーシブコミュニティ協会
代表理事 新井 清義（あらい すみよし）さん

6 定 員 50人程度

7 入 場 料 無料

8 参加方法 当日直接会場へ（事前申込み不要）

9 主 催 インクルーシブ実行委員会

10 記者会見出席者

インクルーシブ実行委員会
委員長 高尾 由希子（たかお ゆきこ）さん

参考

1 講師の新井清義さんについて

大阪大学大学院連合小児発達学研究科博士課程修了。発達障害児の脳機能の研究に取り組まれました。

大学院修了後、発達に偏りのある子供たちが通うフリースクールに教職員として就職し、生まれつき平均よりも顕著に高い能力を持ったギフテッドチャイルドのクラスを担当。

その後、心理学や脳科学をベースとして能力開発の授業を行う学習塾に就職し、有名私立学校を目指す子供たちだけでなく発達に偏りのある子供たちを対象に、関東近郊や大阪、京都、広島、愛知から生徒が集まるオンライン授業を展開しています。

2 インクルーシブ実行委員会について

インクルーシブ実行委員会は、共生社会の実現を目的として、講演会の運営や情報発信等を実施する団体です。令和6年10月14日には、講演会「インクルーシブな社会を築き、共生社会の構築実現の第一歩を」を開催しました。

3 しぶかわ未来共創推進事業補助金制度を活用した今後実施予定の事業

- ・女性の為のシンポジウム（令和7年2月23日（祝・日））
- ・渋川市高校合同説明会（令和7年3月23日（日））
- ・Let'sお仕事体験（令和7年3月30日（日））

※詳しくは、市ホームページ (https://www.city.shibukawa.lg.jp/shisei/seisaku_keikaku/machi_hito_shigoto/p011292.html) をご覧ください。

市ホームページはこちら▶



■問い合わせ先

総合戦略部 部長 鴻田 吉史（内線2410）

担当：政策戦略課（電話0279-25-8419）

課長 小野 篤史（内線2420）

未来戦略係長 齋藤 大輔（内線2423）



入場無料

「合理的配慮について考える」

セミナー

「日付」 2025年3月3日(月)

「時刻」 11:00～12:30

「場所」 伊香保公民館 (群馬県渋川市伊香保町伊香保 163 番地 1)

「講師」 新井清義 様 (一般社団法人インクルーシブコミュニティ協会 代表理事)



(開催主旨)

合理的配慮とは、障害のある人の人権が障害のない人と同等に保障されるとともに、教育や就業、その他社会生活において平等に参加できるよう、それぞれの障害特性や困りごとに合わせておこなわれる配慮のことをいいます。

2024年4月に改正障害者差別解消法が施行され、民間事業者における合理的配慮の提供が法的義務になりました。こうした障害のある人を取り巻く環境の変化を受けて、いま社会に求められている対応について事例を交えてお伝えします。

主 催：インクルーシブ実行委員会

後 援：渋川市

国連 NGO JACE、一般社団法人日本環境保健機構

一般社団法人寝室環境衛生管理協会、一般社団法人日本室内空気保健協会

連絡先：インクルーシブ実行委員会 (090-6415-8493)

気候危機や脱炭素の基礎知識を身に付ける 「脱炭素まちづくりカレッジ」を開催します

地域住民、事業者と一体で市域における温室効果ガス排出量削減を推進するため、渋川市内の青年団体を対象に「脱炭素まちづくりカレッジ」を開催します。

脱炭素まちづくりカレッジとは、気候危機や脱炭素の基礎知識を身に付け、持続可能なまちづくりや地域づくりについて学ぶことができるカードゲーム型プログラムです。

1 概 要

渋川市は、第4期渋川市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）に基づき、渋川市の事務事業活動によって排出される温室効果ガスの削減に取り組んでいます。今後、渋川市域において削減を推進するためには、行政だけでなく、地域住民、事業者と一体となって取り組みを進めていく必要があります。

そこで、市内で活動する青年団体を対象に、気候危機や脱炭素の基礎知識を身に付け、持続可能なまちづくりや地域づくりについて学ぶ「脱炭素まちづくりカレッジ」を開催します。

2 日 時 令和7年2月25日(火) 午後6時～9時

3 会 場 渋川市役所第二庁舎 201会議室

4 内 容

(1) 気候危機や脱炭素の基礎知識レクチャー

(2) 2030年の温室効果ガス排出量50%削減にチャレンジするカードゲーム(※)の実施

(3) ゲームから得た学びや気づきを共有する対話の時間

※カードゲームでは、参加者が事業者、行政職員などの役割を演じ、他のプレイヤーと資金や人的ネットワーク、情報を交換しながら、ゴール達成に向けて様々なプロジェクトを実施します。

5 参加予定団体

渋川青年会議所、渋川商工会議所青年部、しぶかわ商工会青年部

6 ファシリテーター

高崎商科大学商学部准教授・立教大学ESD研究所客員研究員
萩原 豪（はぎわら ごう）氏

参考

「脱炭素まちづくりカレッジ」について

脱炭素まちづくりカレッジは、特定非営利活動法人イシュープラスデザインが提供するカードゲーム型プログラムです。群馬県では群馬県公認環境SDGsファシリテーターがプログラムを運営します（県公認ファシリテーターは令和6年度時点で30人）。

今回ファシリテーターを担当する萩原豪氏は、渋川市環境審議会の会長などを努め、渋川市において活躍されています。

■問い合わせ先

市民環境部 部長 田中 良（内線1100）

担当：環境森林課（電話0279-22-2114）

課長 入澤 仁（内線1140）

環境政策係長 小林 哲彦（内線1146）

資料3

ふるさと再発見 渋川の偉人展第13回目として 「渋川郷学 堀口藍園顕彰展」を開催します

ふるさと再発見 渋川の偉人展第13回目として、「渋川郷学 堀口藍園顕彰展」を、2月18日(火)から開催します。江戸時代から明治時代にかけての教育者で、多くの門弟を育て、渋川郷学の学統の一人として位置づけられる堀口藍園の足跡と、ゆかりの史跡などを紹介します。

2月19日(水)には、関係者による開催セレモニーを行います。

1 概要

渋川市は、渋川市にゆかりのある先人の功績に改めて光をあて讃えるとともに、多くの人にその功績を深く知っていただき、郷土の誇りとして後世に末永く継承していくために、顕彰展を平成30年度から毎年開催しています。

第13回目となる今回は、江戸時代から明治時代にかけての旧渋川村（渋川市渋川）出身の教育者で、多くの門弟を育て地域の発展に大きく貢献した堀口藍園の生涯についての解説や、渋川市内にあるゆかりの史跡などを紹介します。



画像：堀口藍園翁碑（渋川八幡宮）

2 日 時 令和7年2月18日(火)～27日(木) 午前8時30分～午後5時15分
※市役所閉庁日は除く

3 会 場 渋川市役所本庁舎1階 市民ホール

4 展示品

解説用のパネルのほか、堀口藍園が書いた掛け軸の写真等（予定）

※作成した解説用のパネルは、顕彰展終了後に市内の各小中学校で行う巡回展示での使用を予定しています。

5 開催協力

顕彰展の開催に当たり、藍園の妹が嫁いだ石坂家の石坂延子さん、関連する資料を保存する渋川北小学校などから協力を得ています。

6 その他

令和7年2月19日(水)の午後2時から、市長ほか、関係者による開催セレモニーを市民ホールで実施します。

参考

1 堀口藍園 略歴

- 1818 (文政元) 年 渋川村裏宿の紺屋 (染物屋) の長子として生まれる
1829 (文政12) 年 高橋蘭斎に入門し読み書きの初歩と儒学を習う
その後、木暮足翁に国学と和歌を、周休竹溪に漢詩を習う
1843 (天保14) 年 父を亡くし、一家を支える立場となる
1852 (嘉永5) 年 学徳を慕う近隣の人々からの願いを聞き入れ家塾を開く
1857 (安政4) 年 江戸と京都へ遊学し、多くの学者や文人などと交わる
1868 (明治元) 年 群馬へ逃れてきた彰義隊残党の助命に成功する
1871 (明治4) 年 吉田芝溪の墓への道しるべを建てる
1872 (明治5) 年 学制発布により家塾を閉じる
1877 (明治10) 年 塾の再開を考え「私塾開業願」を県に提出する
1881 (明治14) 年 門弟の同窓会「金蘭吟社」の第1回が開催される
1886 (明治19) 年 門弟らが藍園の詩をまとめた「藍園詩鈔」を刊行する
1891 (明治24) 年 74歳で死去
1893 (明治26) 年 門弟らにより「堀口藍園翁碑」が渋川八幡宮境内に建立される
1924 (大正13) 年 従五位が贈られ渋川町を挙げての奉告祭が催される

2 ふるさと再発見 渋川の偉人展実施状況

- ・平成30年度 佐藤次郎展
角田柳作顕彰展
- ・令和元年度 浅野総一郎顕彰展
穂刈恒一顕彰展
- ・令和2年度 吉田芝溪顕彰展
木暮武太夫顕彰展
渡辺啓助顕彰展
- ・令和3年度 木暮足翁顕彰展
今井善一郎顕彰展
- ・令和4年度 高橋蘭斎顕彰展
森田素夫顕彰展
- ・令和5年度 周休竹溪顕彰展

■問い合わせ先

教育部 部長 斉藤 章吉 (内線4930)
担当：生涯学習課 (電話0279-22-2500)
課長 照井 智子 (内線4950)
生涯学習係長 村尾 洋明 (内線4954)